

時事文翻訳添削ノートから

私は毎年授業で時事文翻訳の添削を行っています。翻訳に挑む学生さんたちに具体的な事例に沿って役に立つ情報をご紹介します。

情報 17

P50の5行目に“当地”があります。どうしても「当地」と日本語訳してしまうのですが、実際は「現地」とか「地元」と訳します。「当地」というと、話者や筆者がその現地にいないといけません。例えば「当社」と「同社」という日本語で考えれば一目瞭然です。

ちなみに日本語の「当地」に当たる中国語は“本地”といいます。これなら、話し手が今其処にいることがはっきりわかります。

情報 18

P52の2行目に“仍”があります。よく“仍然”とも言うのですが、もともとこの“然”というのは単音節語を2音節化するために加えられたもので、六朝時代頃から盛んに使われるようになったのですが、書き言葉は見ればわかりますから、“仍”だけで言う場合が多いのです。“虽然”“竟然”も“虽”“竟”だけでよく使われます。

“然”以外でも“可是”を“可”だけで言ったり、“并且”を“并”だけで言いますが、原理は同じことです。



大理白族の女性。▶